

Point of note

■ 就労継続支援A型とは

通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能な障がい者に、就労機会を提供するとともに、生産活動により、知識および能力の向上に必要な訓練などを行う支援事業。平均賃金は69,458円。(2013年/厚生労働省)このサービスを通じ、一般就労を目指す。



現在、すまいる弁当では、就労継続支援A型事業所として、外部からの受け入れも開始した。



希望する就職を実現したOBたちの写真。



すまいる弁当は現在7店舗で販売。



調理では徹底的に衛生面にこだわる。



手づくり弁当。ご飯も付いて280円〜。



会社概要

所在地：熊本県菊池郡大津町大林 1027  
業種：障がい者福祉事業  
設立：2012年3月  
従業員数：25名



# 一般社団法人 すまいる

<http://www.smile1230.or.jp/>

就職支援のスペシャリストが始めた障がい者福祉事業は、「保護」から「自立」へと支援の方向性を変えた。そこでは多くの障がい者が職を持ち、社会に参加する環境が生まれていた。

## 「障がいがあっても自立して幸せになってほしい 子どもの自立はどの親にとっても幸せなことです」

「87・5%」。この数字は、「NPO法人障がい者支援の会すまいる」の4期目の、障がい者の一般企業への就職率である。これほどまでの実績を挙げた理由のひとつには、代表理事である伊藤智佳子さんの、社会が抱える課題を解決したいという強い信念があった。

もともと、伊藤さんはキャリアカウンセラーとして活躍、多くの人の就職活動をサポートしてきた。そのなかで長年、痛感してきたのは、障がい者の就職を支援する難しさだった。

「健常者の場合だと、だいたい数社の試験を受けて、就職が決まります。障がい者だと、そうはいきません。例えば、働く力は十分あるのに、半年間で18社から採用を見送られた方がいました。すると元気がなくなり、自信も失われます。自分の障がいを疎ましくいさえ、感じてしまうのです」

伊藤さんは、障がい者一人ひとりに寄り添ったサポート体制を整えれば、就職率が格段に上がると信じていた。そこで、自身のキャリアで培ったスキルを障がい者のために活かしたいと起業を決断。キャリアカウンセラーの職を辞し、2010年、「NPO法人障がい者支援の会すまいる」を設立する。

NPO法人設立時のメンバーは6名。ほとんどが福祉サービス業経験者だが、そのなかに県内で弁当販売会社を経営する人がいた。この人の経験を活かし、新事業を立ち上げる。

「過去の経験で、障がい者の8割は一般企業に就職することが可能だとわかりました。残りの2割の方は、障がいの度合や年齢などが理由で、一般企業への就職が難しい。その方たちが働く場所として、弁当工場を運営したいと考えたんです」

12年3月、伊藤さんはNPO法人と並行して、「一般社団法人すまいる」を立ち上げた。日本政策金融公庫から創業資金として融資を受け、弁当工場の設備を整えた。同年7月、大津町に「すまいる弁当」1号店がオープン。手頃な値段設定、食材にこだわり、冷凍食品を一切使わない、手づくり弁当の店であることをアピールした。この弁当店は、たちまち人気店になった。営業時間は朝7時から午後の1時までだが、12時過ぎにはほとんどの弁当が売り切れるという。

「手づくりこだわったのは、障がい者の労働力を地域の方に知ってほしかったからです。『すまいる弁当』が評判になり、みんなの士気が上がり、笑顔に溢れる職場になりました」

現在、「すまいる弁当」は、県内に

STEP1 創業のきっかけ  
一人ひとりに寄り添った就職支援

最初に取り組んだのは、この場を利用する障がい者を支援するためのプログラムの作成だ。利用者それぞれの希望を聞き、どのような仕事なら支援が可能かどうかを見極める目的がある。

「就職支援の仕事は、足し算で考える必要があります。例えば、ある職業に就くために10のスキルが要求されると仮定します。そこでこの人には6のスキルしかない」と判断して諦めてしまっただけでは、私たちの仕事は成り立ちません。残りの4のスキルをどのような方法で積み上げていくか、利用者と一緒に考えてみます。あと一歩の技術が足りない場合には、私たちは企業を訪問し、それを理解してもらったうえで、採用への道筋をつくってもらおうように働きかけるんです」

それでも積極的に障がい者を受け入れようとする企業は少なかった。そこで、熊本県中小企業家同友会や商工会に加入し、さまざまな職種企業のネットワークの構築に取り組んだ。自ら企業に足を運び、障がい者が会社見学や、実習を受けられるように根気強く交渉した。結果、今では50社を超える企業が、真摯な姿勢で障がい者の採用を検討するまでになった。

STEP2 事業スタート  
弁当店が評判になるにつれ、障がい者に自信が芽生える

7店舗を構えるまでに成長した。

STEP3 今後の展望  
就労継続支援A型事業所の指定  
そして、さらなる支援に向けて

今、伊藤さんは、2年以内に店舗数を10店に増やし、1日1800個の弁当販売を目標としている。15年6月、「一般社団法人すまいる」は、就労継続支援A型の指定も受けた。今後は全店舗に最低ひとはA型の雇用者を配属する予定だ。

一方、NPO法人の就労支援事業のほうも80%を超える就職率を維持しながら、送迎可能範囲外からの利用を望む声にこたえるべく、グループホームを建設する。16年に完成される予定だが、すでに入居申し込みがあるという。

伊藤さんの温かな眼差しは、日本全国の障がい者の就職支援事業のあり方さえも変えていくだろう。

Profile

一般社団法人  
すまいる  
代表理事  
伊藤智佳子さん

熊本県出身。キャリアカウンセラーの経験を活かし、障がい者の就職支援に取り組む。2012年に就労継続支援B型事業、2015年に就労継続支援A型事業を開始。